

株式会社ゼネテック

# 2022年3月期 第2四半期 決算説明資料



証券コード：4492





Second Quarter of  
**FY2022**  
**Results**

01 2022年3月期 第2四半期決算概要

02 2022年3月期 第2四半期セグメント別業績

03 2022年3月期 業績見通し

04 事業経営の方向性およびトピックス

05 Appendix



## 2022年3月期 第2四半期決算概要

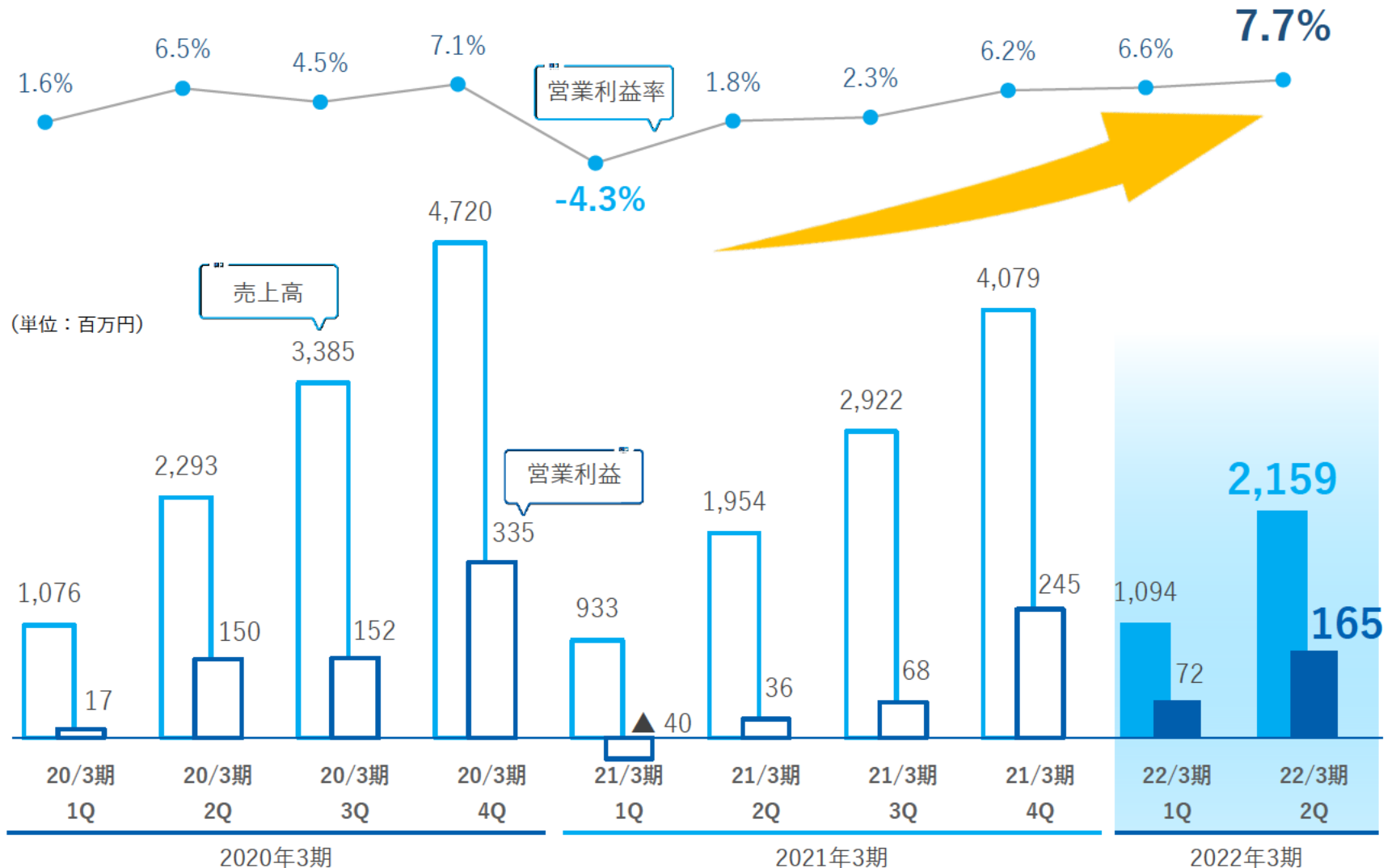
## 業績サマリー

- ☑ 売上微増ながら、営業利益は大幅増益
- ☑ 四半期純利益は、本社移転に伴う特別損失計上するも前期を上回る

(単位：百万円)	2021年3月期 第2四半期 実績 (累計)	2022年3月期 第2四半期 実績 (累計)	前期比 増減額
売上高	1,954	2,159	+204
売上総利益	684	894	+210
販管費	647	729	+ 81
営業利益	36	165	+128
経常利益	36	229	+193
親会社株主に帰属する 四半期純利益	23	86	+ 62

# 四半期業績推移（累計期間）

☑ 営業利益率は、前第1四半期を底にして良化基調





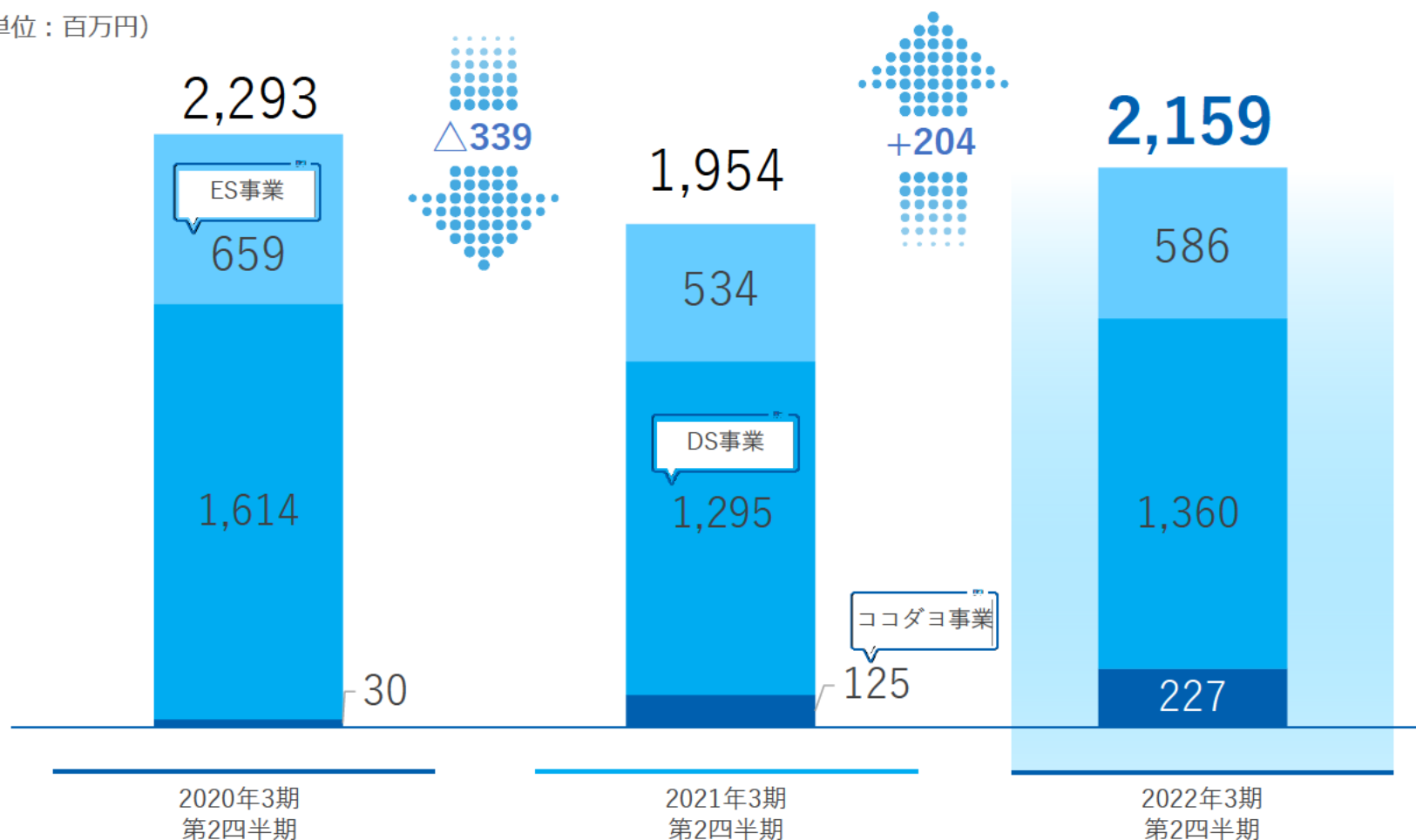
## 2022年3月期 第2四半期 セグメント別業績

# セグメント別売上高

☑ ココダヨ事業が著しい成長

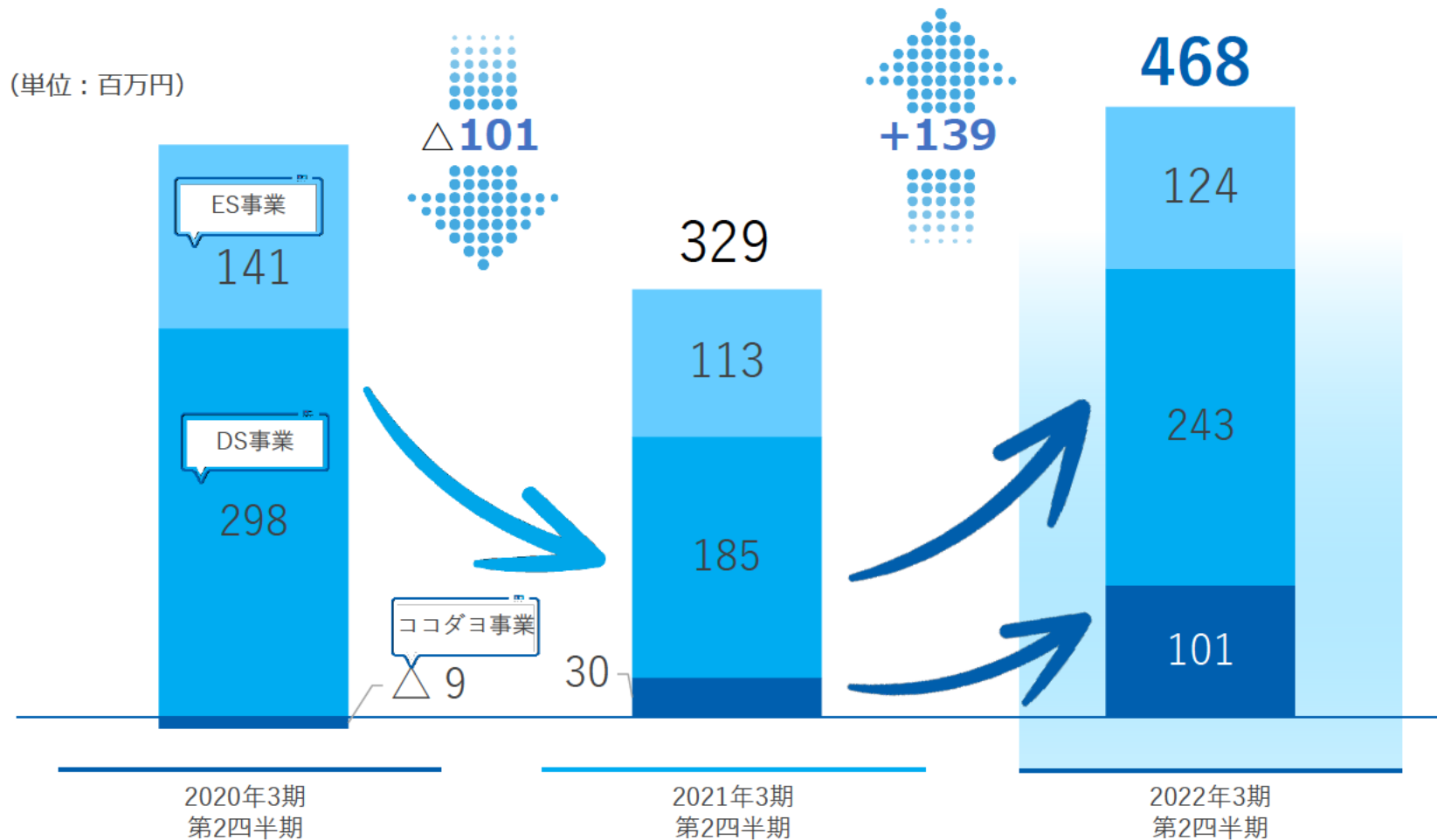
☑ DS事業が復調、ES事業は堅調、ココダヨ事業は好調

(単位：百万円)



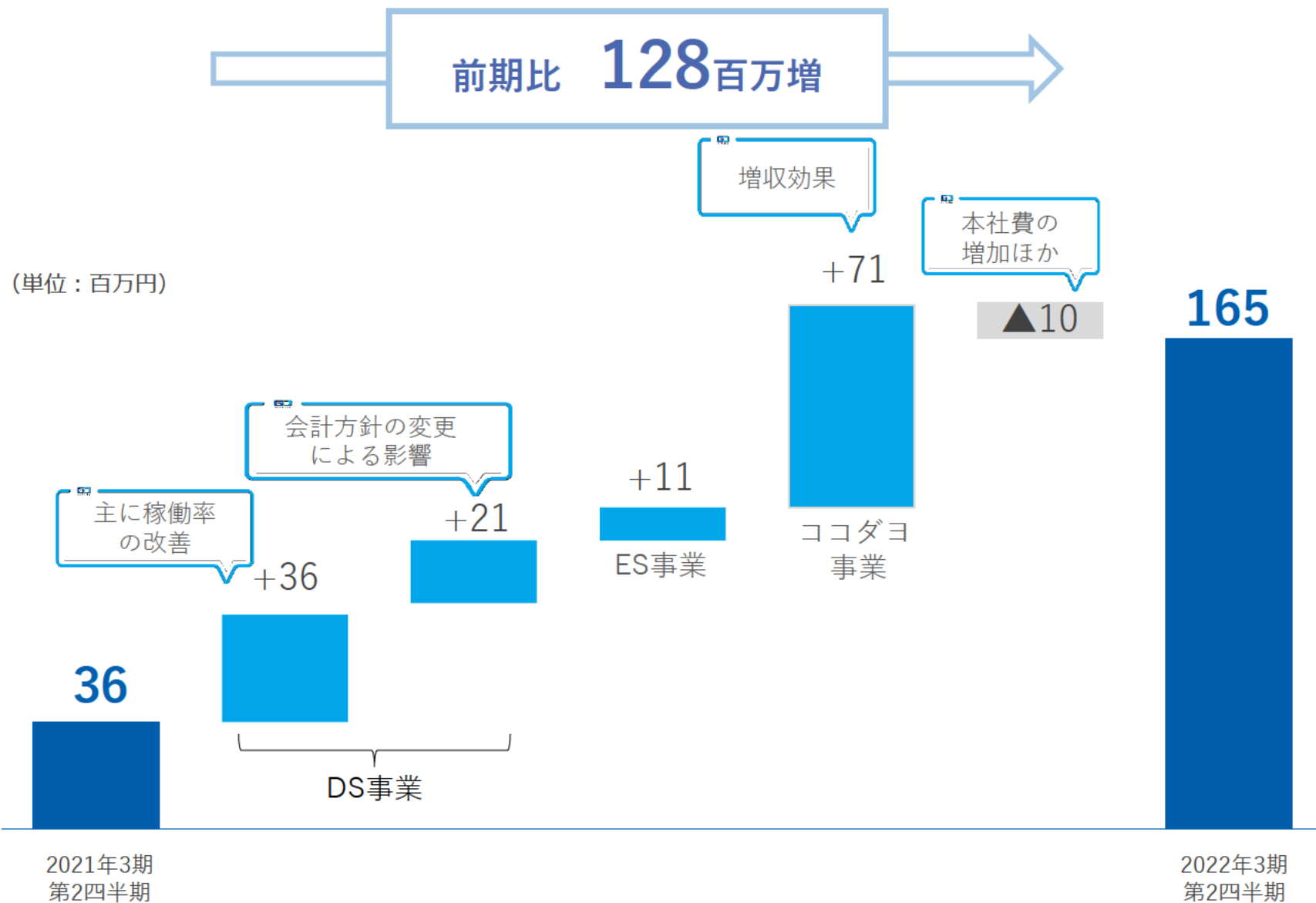
# セグメント利益

- ✓ DS事業は、取引先基盤の拡充で回復基調
- ✓ ES事業は、安定した収益基盤。今後はDX事業を拡大
- ✓ ココダヨ事業は、成長軌道を維持





# 営業利益増減分析

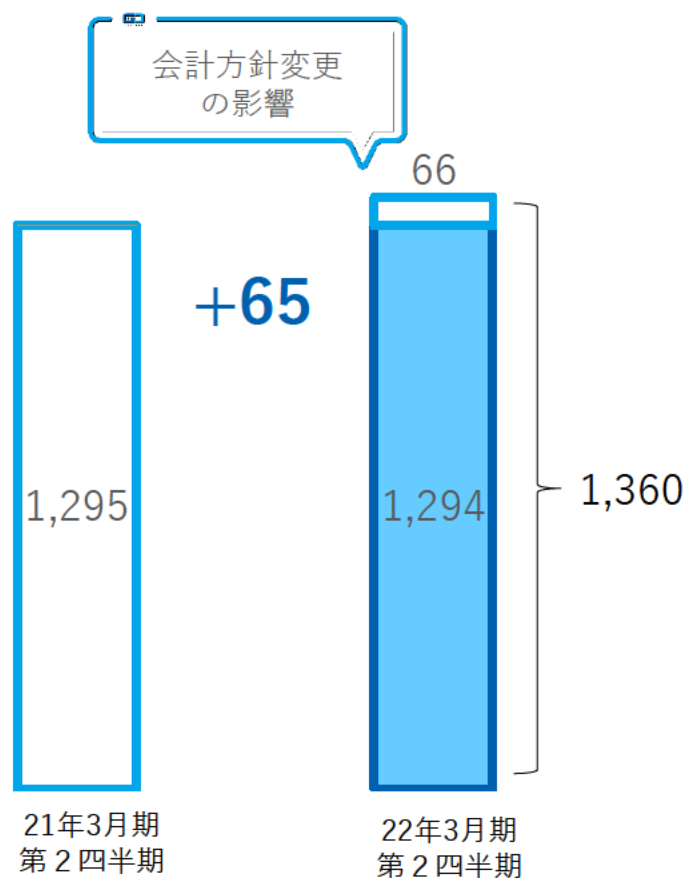


# デジタルソリューション事業

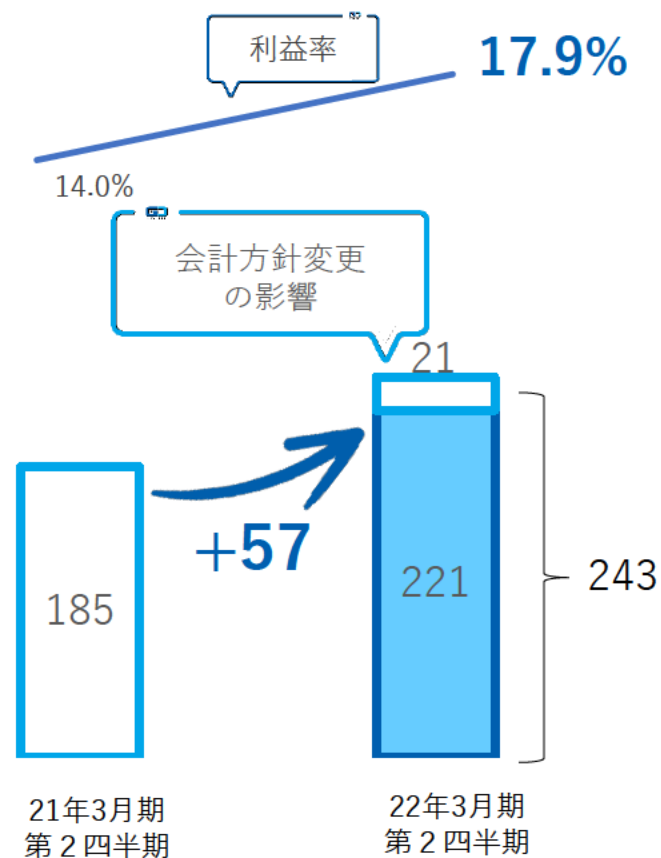
✓ 施策が奏功し、取引先基盤拡充。新規案件増加

✓ 稼働率が改善し、利益率は向上

## 売上高 (単位：百万円)



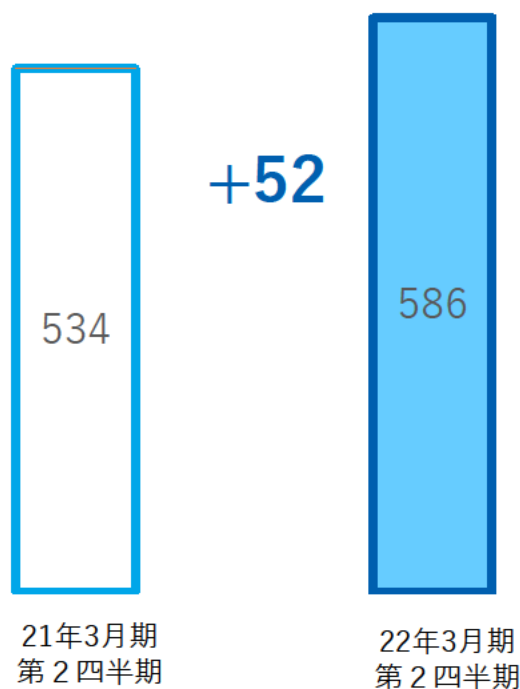
## セグメント利益 (単位：百万円)



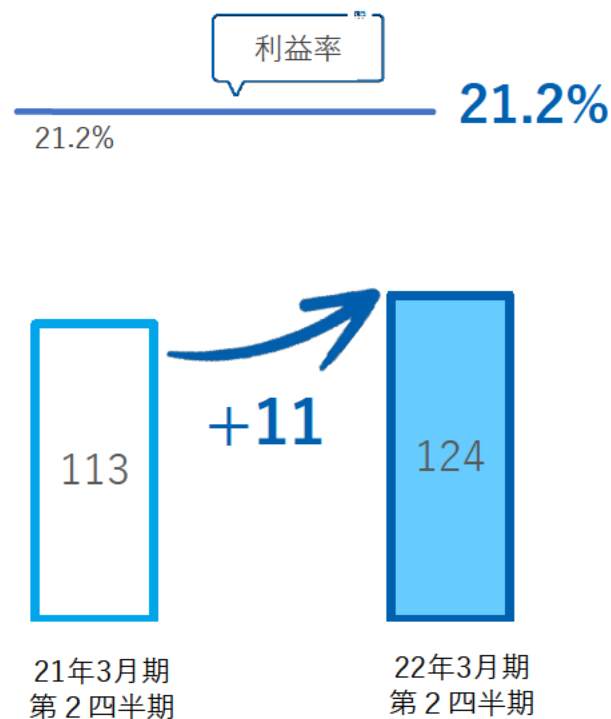
# エンジニアリングソリューション事業

- ✓ FlexSimの販売施策奏功で増収増益
- ✓ 2021年10月にDX事業本部を分離新設。  
デジタルツイン技術で製造業再生を支援

### 売上高 (単位：百万円)



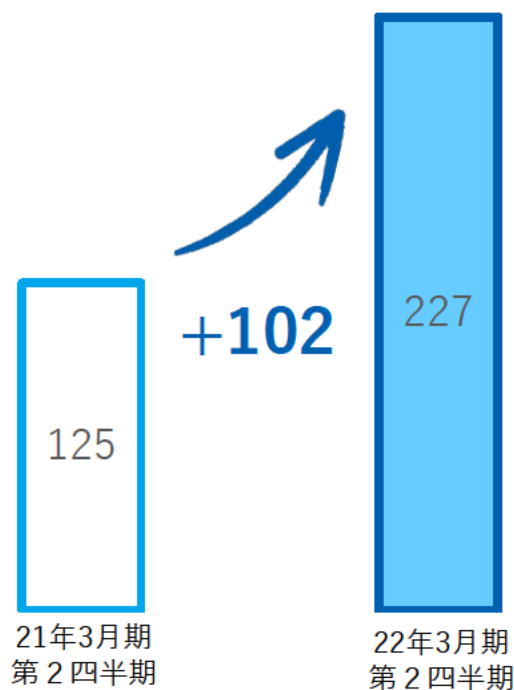
### セグメント利益 (単位：百万円)



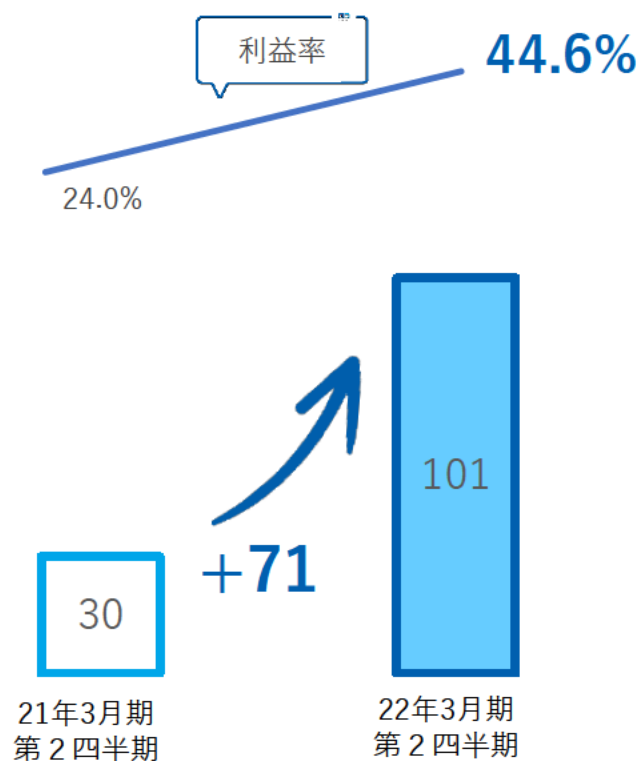
# ココダヨ事業

- ☑ 「スゴ得コンテンツ」の売上が好調。増収効果で利益率20%アップ
- ☑ 6月に「ココダヨSOLO」をリリース

売上高 (単位：百万円)



セグメント利益 (単位：百万円)





## 2022年3月期 業績見通し

## 2022年3月期 業績予想

- ✓ 通期目標達成に向けて順調に進捗
- ✓ 本社移転関連で下期に40百万円の特別損失見込むが、通期業績予想は変更なし

(単位：百万円)	2022年3月期 第2四半期 実績	2022年3月期 通期 予想	進捗率
売上高	2,159	5,000	43.2%
営業利益	165	285	58.0%
経常利益	229	345	66.6%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	86	210	41.1%

## 中間（上場1周年記念）配当含め、 1株あたり年間配当は、14円00銭を予定



2021年3月期

10.0円

2022年3月期  
2022年3月期中間  
期末（予想）4.0円  
10.0円

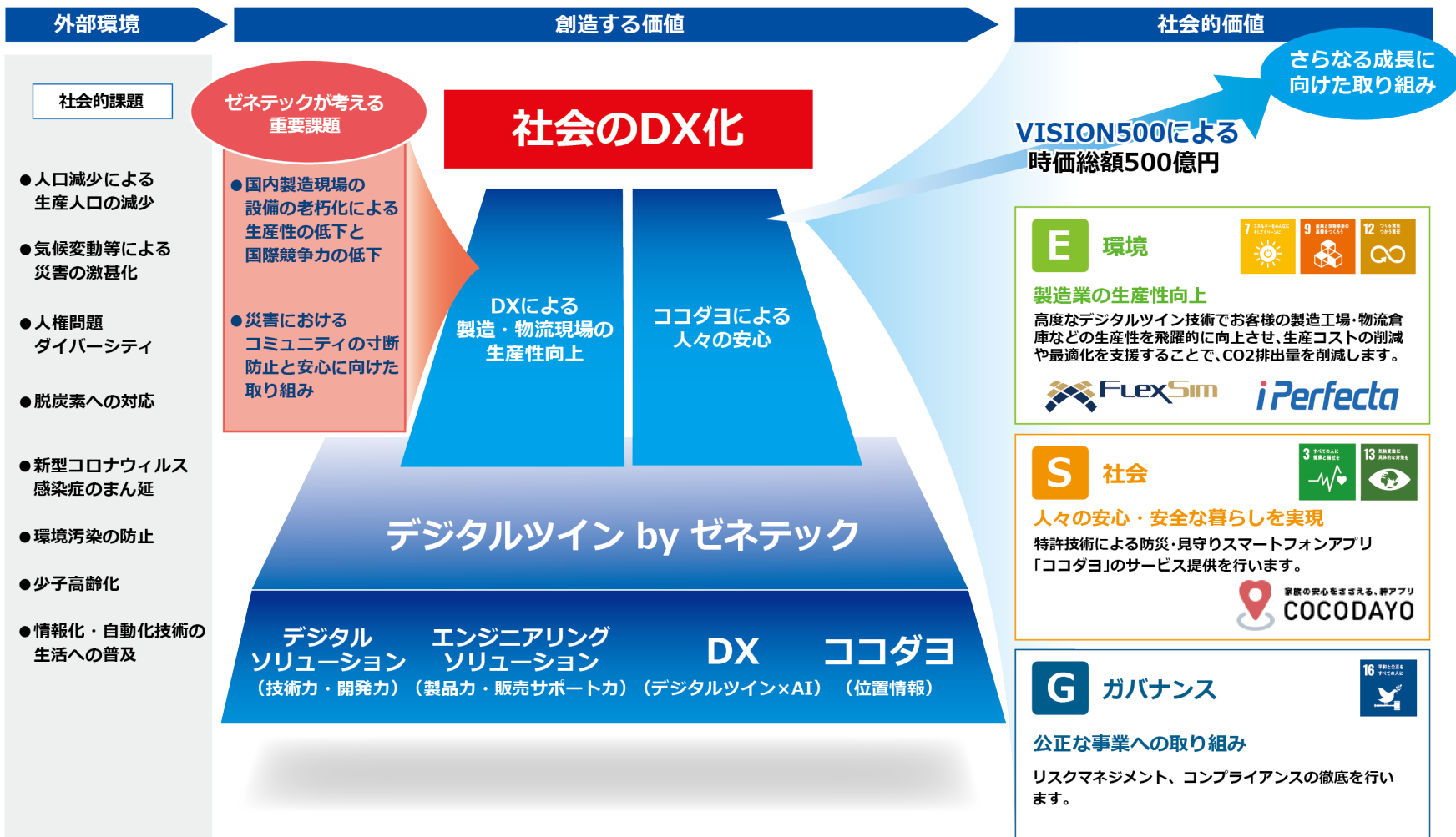
※2021年9月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。  
2021年3月期および2022年3月期の1株あたり年間（予想）配当金は、  
当該株式分割を考慮して算出しております。  
なお、2021年3月期の当該株式分割前の基準による実際の1株あたり配当金は、  
20円となっております。



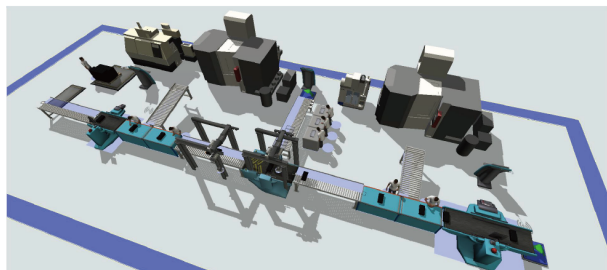
## 事業経営の方向性 およびトピックス



ゼネテックは新たな価値創出に向けて挑戦してまいります。



# ES事業:DXによる日本の製造業の復活に向けて

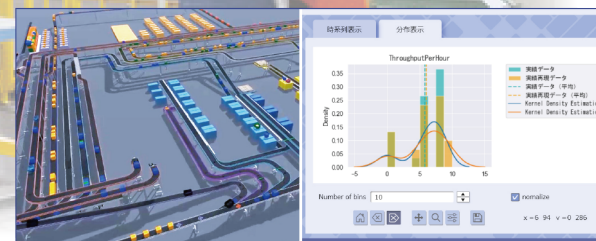


2021年10月 DX事業本部を設立、製造DXのソリューション推進の体制構築  
iPerfecta(FlexSim×BIRD社のAIをアドオン)  
開発完了

2021年3月、国産で最新鋭のAI技術を持つBIRD社との協業発表、  
協業ソリューションの開発開始

2019年、FlexSimが  
世界No.1評価を獲得

2018年、FlexSim社と契約、  
国内販売開始



## 世界で認められる3Dシミュレーター(FlexSim)×国産のAI統合(iPerfecta)

日本の製造業(&物流業)が抱える様々な問題・課題を解決するキーワード「生産性の向上」を強力に推進



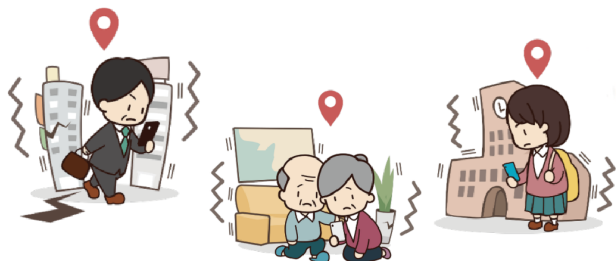
世界で57000ライセンス(国内50ライセンス余り)



少ないデータで、より正確なデジタルツインを構築  
得たい成果を聞くと必要な打ち手を教えてくれる

ココダヨ事業の最新トピックスをご報告します。

## 災害時の安否確認



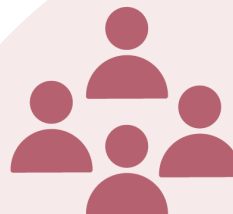
## 見守り



家庭でのご利用

66万ダウンロード

## 今後の展開イメージ



地震災害の多い国・地域への展開

国内 スマホ普及4,750万世帯  
当面目標1,000万世帯  
(アンケートで常に7-8割がココダヨ利用意向あり)



企業／自治体向け開発、  
見守り機能拡充

さらなる  
成長

## 今後の展開について

- 他キャリア・プラットフォームへも展開
- 過去実施の消費者調査(2000名規模)で利用意向70%以上。  
利用意向と継続率は非常に高く、認知度向上に向けて展開
- 災害の多い海外含む12カ国で特許取得済み。  
JICAの調査採択

## トピックス（本社移転）

- ✓ 2021年12月に本社を移転。今後の業容拡大に向けた都内2拠点体制  
 オフィス環境整備による業務効率化、優秀な人財の獲得、  
 部門間コミュニケーションの活性化

### 新本社

東京都新宿区西新宿6-5-1  
 新宿アイランドタワー25階



〈新宿アイランドタワー〉

### 新宿事業所

東京都新宿区西新宿6-14-1  
 新宿グリーンタワー22階



〈新宿グリーンタワー〉



## Appendix

# 会社概要



会社名	株式会社ゼネテック
本社所在地	東京都新宿区新宿2-19-1
代表者	代表取締役社長 上野 憲二
設立日	1985年7月1日
決算月	3月
資本金	3億5,865万円

役員	代表取締役社長	上野 憲二
	専務取締役	福間 誠
	取締役	鈴木 章浩
	社外取締役	大野 貴史
	取締役 (監査等委員)	八戸 雅利
	社外取締役 (監査等委員)	田中 俊平
	社外取締役 (監査等委員)	水谷 翠

会計監査法人	太陽有限責任監査法人
従業員数 (連結)	249名 (2021年3月31日現在)
子会社	アプリハウス株式会社
拠点	東京事業所・新横浜事業所・名古屋事業所 大阪事業所・広島事業所・福岡事業所

事業内容	<b>■デジタルソリューション事業</b> ソフトウェア/ ハードウェアシステム開発事業
	<b>■エンジニアリングソリューション事業</b> 3次元CAD/CAMシステム/ 3Dシミュレーションソフト等販売・ ソリューション提供事業
	<b>■ココダヨ事業</b> 防災用アプリケーション提供事業
上場市場	東京証券取引所JASDAQスタンダード

# 連結貸借対照表の状況



(単位：百万円)

科目／期別	2021年3月期	2022年3月期2Q
<b>流動資産</b>	2,386	<b>2,315</b>
現金及び預金	1,481	1,399
受取手形及び売掛金	691	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	721
仕掛品	45	21
その他	169	174
<b>固定資産</b>	458	<b>409</b>
有形固定資産	74	32
無形固定資産	25	53
投資その他の資産	358	323
<b>資産合計</b>	2,844	<b>2,724</b>

科目／期別	2021年3月期	2022年3月期2Q
<b>流動負債</b>	681	<b>511</b>
買掛金	173	119
短期借入金	50	50
未払金	120	54
その他	338	288
<b>固定負債</b>	336	<b>325</b>
社債	25	—
退職給付に係る負債	311	325
<b>負債合計</b>	1,017	<b>836</b>
<b>株主資本</b>	1,827	<b>1,887</b>
資本金	50	358
利益剰余金	1,311	1,048
その他	466	481
<b>純資産合計</b>	1,827	<b>1,887</b>
<b>負債・純資産合計</b>	2,844	<b>2,724</b>

## 資産

- 流動資産=現金及び預金が82百万円の減少
- 固定資産=投資その他の資産が35百万円の減少、有形固定資産が41百万円の減少、敷金及び保証金52百万円の増加

## 負債

- 流動負債=未払金が65百万円、買掛金が53百万円、賞与引当金が46百万円それぞれ減少

# 連結損益計算書/連結キャッシュフローの状況



(単位：百万円)

	2021年3月期 2Q		2022年3月期 2Q	
	実績		実績	前期増減
売上高	1,954		2,159	+204
売上総利益	684		894	+210
販管費	647		729	+81
営業利益	36		165	+128
経常利益	36		229	+193
四半期純利益	23		86	+62

科目/期別	2021年3月期2Q		2022年3月期2Q	
				前期増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	284		▲23	▲308
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲17		▲16	+0
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲17		▲56	▲39
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,116		1,098	▲18



# 将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

IRに関するお問い合わせ先：[IR@genetec.co.jp](mailto:IR@genetec.co.jp)